

協議員から出された意見

第19回協議会

「必要性の有無（効果と影響）」について

意見

- ・地上部街路の議論については、今議論している高速道路の必要性の有無とは切り離し、高速道路の議論がある程度集約された段階で地上部街路の議論を行うこととしたい。（成田協議員）
- ・シールドトンネルの地下水脈に与える影響は重要であるため、事前のボーリング調査が必要。
- ・今でも東名は渋滞しており、外環が東名まで出来れば世田谷の環境が悪くなる。大泉の現状がどうなっているかは、世田谷としても知りたい。（栗林協議員）
- ・インターチェンジなしの場合、予定されているジャンクションの3つの換気所で処理ができるのか。（渡辺協議員）
- ・動植物の調査については、PIと同じように市民が参加するしくみをつくるべき。（栗林協議員）
- ・地下水については、現地の調査をして、シミュレーションをする必要がある。
- ・環境については今後、詳細な検討が必要。環境基準を超えないような対策を実施していく。（伊勢田協議員）
- ・青梅街道にインターチェンジができると多くの交通量が発生し、換気塔もできる。住んでいる人間の命が一番大事と思うが、行政はどのように考えているのか。（須山協議員）
- ・外環道路が出来た場合、善福寺公園等の生態系が崩れることが心配。（本橋協議員）
- ・青梅街道にインターチェンジができると換気塔も必要になり立ち退きが増えるので絶対反対。（宿澤協議員）
- ・青梅街道インターチェンジについて、引き続き地元のご意見を把握していく。
- ・インターチェンジを造った場合、出入りする交通が環境に影響を及ぼすと考えられ、大気、騒音など、詳細な現地調査をして影響がどの程度なのか検討していかなければいけない。
- ・移転棟数は、1棟でも少なくなるように施工方法等を検討していきたい。（伊勢田協議員）
- ・換気所の数や位置については、しっかり検討した資料を出していただいた上で議論すべきである。（柴田協議員）
- ・周辺への影響を考えるに当たっては、現状がどうなっているのか、考えられる最悪の場合を想定して検討を進めていただきたい。（江崎協議員）
- ・外環の計画が止まっていたために、大変な思いをしている人がいるということも皆さんに知っていただきたい。（湯山協議員）
- ・環境に与える影響、生活に与える影響の資料は最も影響が大きい開削区間について整理すべき。（柴田協議員）
- ・練馬区としては外環の南伸は必要。青梅街道インターチェンジも必要と考えているが、地下水、換気塔について各協議員から出されている意見を充分議論するため、早く現地調査をすべき。（平野協議員）
- ・換気塔の位置がどこか正確に答弁いただきたい。（渡辺協議員）
- ・換気塔だけで排気ガス処理を考えるのではなく、他にも違った視点で見ること必要。（栗林協議員）
- ・換気の議論をするためには、交通量等のデータを出して議論すべき。（柴田協議員）
- ・インターチェンジがなければそこには換気塔はつくらないことを確認したい。（倉田協議員）
- ・換気塔については、最低3カ所は必要と考えているが、具体については、トンネル延長や交通量などを踏まえて検討を行う。
換気所の大きさは、送風機の大きさによって変わってくる。（伊勢田協議員）
- ・換気所の位置というのが非常に大きい問題であり、具体的な内容を早く示してほしい。（新谷協議員）
- ・具体的なデータ、根拠も無い段階で、換気塔の位置について軽々しく発言すべきでない。（柴田協議員）
- ・人工物と自然との共存を考えるべき。外環道そのものも、なるべく被害の少ない方法で考えていくべき（秋山協議員）
- ・地元の個別の議論は、協議会の議論が拡散してしまうため、別の場ですべき。（栗林協議員）